

J Aバンク静岡における地域密着型金融の取組状況（平成 24 年度）

J Aバンク静岡（静岡県下 J A と静岡県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 23～25 年度 J Aバンク静岡 3 か年計画に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 24 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク静岡は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク静岡は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 25 年 3 月末時点における J Aバンク静岡の農業関係資金残高^{（注1）}は 41,172 百万円（うち農業経営向け貸付金 37,762 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は 10,301 百万円を取扱っています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク静岡が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

	25 年 3 月末現在
農業	37,762
穀作	1,309
野菜・園芸	7,309
果樹・樹園農業	2,365
工芸作物	7,610
養豚・肉牛・酪農	2,159
養鶏・鶏卵	551
養蚕	0
その他農業	16,457
農業関連団体等	3,410
合計	41,172

（注）

1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3 「農業関連団体等」には、J A や経済連とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】

(単位：百万円)

種 類	25年3月末現在
プ ロ パ ー 資 金	26,154
農 業 制 度 資 金	15,018
うち 農 業 近 代 化 資 金	4,915
うち そ の 他 制 度 資 金	10,103
合 計	41,172

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク静岡が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

種 類	25年3月末現在
日 本 政 策 金 融 公 庫 資 金	10,301
そ の 他	0
合 計	10,301

(注)

JAバンク静岡では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク静岡では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者と情報共有を行い、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内18JAの本支店には34人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

(3) 6次産業化に向けた農商工連携の推進

JAバンク静岡では、中央会、経済連などと連携し、生産者・JAと加工流通業者との商談会の開催など、農業6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
ふじのくに総合食品開発展	平成 25 年 1 月 23 日	県・静岡JAグループ・ 静岡地産地消推進協議会 他	187 団体	1,064 名	資金相談対応を行いました。
静岡県農業・食品産業交流会	平成 24 年 11 月 20 日	日本政策金融公庫	91 団体	93 名	当会取引先 4 社が参加し、公庫が集めたバイヤーに対し、生産物のPRと販売についての商談を行いました。
賀茂地域6次産業化異業種交流会	平成 24 年 9 月 11 日	賀茂農林事務所	45 団体	不明	
ふじの国 農芸品フェア	平成 25 年 2 月 23 日	静岡県	100 団体	不明	農産物直売

2 担い手のライフサイクルに応じた経営支援

J Aバンク静岡は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク静岡では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】 (単位:件、百万円)

	平成 24 年度 実行件数	平成 24 年度 実行金額	平成 25 年 3 月末 残高
就農支援資金実績	25	288	1,363
ニューファーマー支援資金	7	24	42
合計	32	312	1,405

(2) 経営不振農業者への経営改善支援

J Aバンク静岡では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成 24 年度の農業者への経営改善支援等の取組実績】

(単位:先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	事業計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A	
		正常先①	8	2	—	8	0.0%
要 注 意 先	うちその他要注意先②	22	3	4	13	13.6%	18.2%
	うち要管理先③	0	0	0	0	—	—
	破綻懸念先④	6	2	1	3	33.3%	16.7%
	実質破綻先⑤	8	3	4	4	37.5%	50.0%
	破綻先⑥	0	0	0	0	—	—
	小計(②～⑥の計)	36	8	9	20	22.2%	25.0%
	合計	44	10	9	28	22.7%	20.5%

注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 24 年 3 月末時点でのものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク静岡では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

J Aバンク静岡では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 24 年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 25 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	86
畜産特別資金	0	0	48
合計	0	0	134

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金の借り受けにより生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク静岡では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

J Aバンク静岡では、東日本大震災による被災者への支援のため対策資金を創設した他、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行 金額
静岡県信連担い手農業者金融支援対策の実施	静岡県信連	原油・肥料・飼料価格等の高騰への対応として、県下J Aの農業資金借入者に対する利子助成を実施。	利子助成件数 201	利子助成金額 5
静岡県東日本大震災緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	東日本大震災に起因した福島第一原発事故による直接被害、風評被害にかかる金融支援として、県下J Aの災害資金借入者に対する利子補給を実施。	利子補給件数 18	利子補給金額 0.3
静岡県東日本大震災緊急特別対策保証料助成の実施	静岡県信連	東日本大震災に起因した福島第一原発事故による直接被害、風評被害にかかる金融支援として、県下J Aの災害資金借入者に対する保証料全額助成を実施。	保証料助成件数 10	保証料助成金額 0.3

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
平成 23 年台風 15 号緊急特別対策利子補給の実施	静岡 県信連	平成 23 年台風 15 号の被害に遭われた農業者を支援するため、県下 J A の災害資金借入者に対する利子補給を実施。	利子補給件数 137	利子補給金額 0.8
平成 24 年台風 4 号緊急特別対策保証料助成の実施	静岡 県信連	平成 24 年台風 4 号の被害に遭われた農業者を支援するため、県下 J A の災害資金借入者に対する保証料助成を実施。	保証料助成 件数 21	保証料助成 金額 0.3
福島第一原発事故による農業被害に対する支援資金の対応	J A 伊豆の国	J A 伊豆の国では福島第一原発事故による農業被害に対し、J A グループの利子助成による無利息資金を創設。	5	8
東日本大震災・原発しいたけ放射能物質検出支援金の対応	J A あいら伊豆	原発事故により生産しているしいたけから放射能物質が検出され、販売ができなくなった事への資金対応。	1	2
平成 24 年台風 4 号災害対策支援資金の対応	J A なんすん	J A なんすんでは、台風で農畜産物の被害を受けた組合員に対し低利の資金を対応。	0	0
台風被害復旧対策資金	J A ハイナン	平成 24 年 6 月 19 日の台風により被害を受けた組合員に対し、J A グループ・牧之原市・御前崎市からの利子補給及び保証料助成による低利の資金対応。	15	33
台風 4 号農業者災害緊急対策資金の対応	J A 遠州中央	台風 4 号で被害に遭われた農業者に対し、農業経営の継続を支援するため、信連の利子助成を受けた低利の資金を対応。	1	2
J A とぴあ浜松台風 4 号による緊急支援資金の対応	J A とぴあ浜松	J A とぴあ浜松では、台風で農畜産物の被害ハウス等施設に被害を受けた組合員に対し、J A バンクによる利子補給を受けた低利の資金対応。	8	12
近代化資金により台風 4 号対応	日本政策金 融公庫		2	9
合計			32	66
			保証料・利子助成(見込含む) 387 件 6.7 百万円	

(2) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク静岡は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校 547 校の小学 5 年生（約 3 万 5 千人）に配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下 J A では、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A 名	活動内容
J A 伊豆太陽	サツマイモ等栽培体験学習
J A 三島函南	学校給食への地元食材提供
J A あいら伊豆	収穫体験（みかん、キウイフルーツ）、学校給食への地元食材提供
J A なんすん	農業学習スクール、茶手揉み体験、稲作体験等
J A 御殿場	水稻栽培体験
J A 富士市	食農体験学習（野菜作り、水稻、茶摘み等）
J A しみず	学校への飲み茶提供、学校給食への農作物提供、農作物栽培・収穫体験
J A 大井川	農業体験スクール（栽培・収穫等）
J A 遠州夢咲	学校への飲み茶提供、農作物等を題材とした作品（図画・書写）展示会
J A とぴあ浜松	農作物の収穫・加工体験
J A みっかび	もち米作り体験、地元食材配布活動

以 上